

平成27年4月15日
中部地方整備局

～ものづくり中部から全国初の取り組み！！～

「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム」を設立

防災や建設分野においてロボットの活用を促進するため、産・学・官の関係者が一堂に会した、「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム(仮称)^{※注}」を設立します。

ものづくりが盛んな中部では、時代の変遷に応じて高度な技術を創出・駆使し、発展しながらこの地域の産業を支えてきました。そして、新たな産業の柱として産・学・官が連携し、「医療・介護」、「生産」、「農業・建設・防災」分野において、世界に誇れるロボット産業拠点を形成することを目的とし、「あいちロボット産業クラスター推進協議会」が平成26年11月に設立されました。

国土交通行政においては、労働力不足が懸念される中、人が近づくことが困難な災害現場の調査や応急復旧を迅速かつ的確に行い、今後増大するインフラ点検を効果的・効率的に実施する実用性の高いロボットの開発・導入が期待されているところです。

中部地方整備局と、(一社)日本建設機械施工協会中部支部は、これらの構想の実現に向け、全国初の取り組みとして産・学・官の関係者が一堂に会して、社会インフラ用ロボットに関する情報交換、ロボット産業と建設産業の交流促進等を行う「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム(仮称)」を設立するとともに、会員約100名が参加し、第1回会議を開催します。

1. 日 時 : 平成27年4月21日(火) 13:30～15:30
2. 場 所 : 桜華会館 桜花の間 (名古屋市中区三の丸一丁目7番2号)
3. 解 禁 : 指定無し
4. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ
5. 配布資料: (別紙)取材申込表
「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム(仮称)」の概要
6. 取材等 : 取材のお問い合わせは下記担当者までお願いいたします。
会場の都合上、取材の際は別紙により事前にご登録をお願いいたします。

※注 本コンソーシアムは、平成27年4月21日の役員会で承認を得て、正式に設立される予定です。

【問い合わせ先】

国土交通省 中部地方整備局 企画部 施工企画課
課長補佐 石川 裕一(いしかわ ひろかず)、 施工係長 田口 智之(たぐち ともゆき)
電話 052-953-8180 (直通)

「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム(仮称)」の概要

1. 設立趣旨・目的

国土交通省では、労働力不足が懸念される中、今後増大するインフラ点検を効果的・効率的に行い、また、人が近づくことが困難な災害現場の調査や応急復旧を迅速かつ的確に実施する実用性の高いロボットの開発・導入の促進を進めているところです。

また、政府が2015年1月にとりまとめた「ロボット新戦略」においても、建設分野の重点分野として2020年までに「国内の重要・老朽インフラの20%においてセンサー、ロボット、非破壊技術等の活用により点検・補修を効率化する」と具体的な数値目標も示されたところです。

これらの構想の現場での実現に向け、インフラ維持管理の効率化・高度化の支援、被災調査支援、災害対応支援等を目的として、産・学・官の関係者が一体となり、社会インフラ用ロボットに関する情報交換、ロボット産業と建設産業の交流促進、ロボット導入現場検証の支援等を行う「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム(仮称)」を設立することとしました。

2. 活動内容

コンソーシアムの活動は上記の設立主旨、目的を達成するため、以下の活動を行います。

- (1)産学官連携による現場ニーズとシーズとの情報交換
- (2)ロボット機械産業と建設産業との交流支援
- (3)ロボット関連技術等の講習会の開催
- (4)ロボット関連情報の収集及び情報提供
- (5)ロボットの現場検証の支援 等

3. コンソーシアムの構成

コンソーシアムは、学識者、中部地方整備局の職員その他、公募による会員により組織します。

4. 会員募集

コンソーシアムでは現在会員を募集しております。入会をご希望の方は以下のホームページより募集要項・入会申込書をダウンロードしていただき事務局まで応募をお願いします。

中部圏インフラロボホームページ: <http://www.cbr.mlit.go.jp/kensetsu-ict/robot/index.html>

◆コンソーシアムのイメージ

